

---

# 令和5年度北栄町高校生議会会議録

令和6年1月19日（金曜日）

---

## 議事日程

令和6年1月19日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

---

## 出席議員（12名）

1番 福永啓太君	2番 山根玲奈君	3番 沖田大成君
4番 武藤雄伸君	5番 増田絢君	6番 西崎咲蔵君
7番 栗原陸君	8番 小倉凜隼君	9番 長優愛君
10番 小栗那奈君	11番 小浜はな君	12番 福井虎太郎君

---

## 議長（1名）

議長 門田健太郎君

---

## 北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長	大庭由美子君	主幹	福嶋奈美君
事務補佐員	長谷川利恵君		

---

## 説明のため出席した者の職氏名

町長	手嶋俊樹君	副町長	岡本圭司君
教育長	笠見隆志君	総務課長	磯江昭徳君
企画財政課長	中野智子君	福祉課長	小澤靖君
産業振興課長	清水直樹君	観光交流課長	松本裕実君
環境エネルギー課長	杉本裕史君	教育総務課長	中原浩二君

---

午前9時18分 高校生議会開会式

○事務局長（大庭 由美子君） それでは、ただいまから高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 野田秀樹が御挨拶いたします。

#### 北栄町議会議長あいさつ

- 町議会議長（野田 秀樹君） おはようございます。令和5年度北栄町高校生議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。この高校生議会も、今年が記念すべき10回目となりました。鳥取中央育英高校の地域探究の一環として活動されている中、この高校生議会も恒例となりどんな一般質問が、あるいは提案が出てくるのか楽しみにしております。その内容も年々充実を増し、また本職の議員とは違う目線や発想がありとても参考になります。今年の高中生議員の皆さんも、自分の提案することが実現するように執行部にアタックしてください。そして、皆さんが今後、今以上に、北栄町に、そして政治に関心を持っていただき、将来議会人となり活躍していただける人が1人でも2人でも誕生していただけることを期待します。今日はしっかり自分の思いをぶつけてください。以上です。
- 事務局長（大庭 由美子君） 続きまして、北栄町長 手嶋俊樹が御挨拶いたします。

#### 北栄町長あいさつ

- 町長（手嶋 俊樹君） 皆さん、おはようございます。町長の手嶋です。あまりアタックしないようお願いしたいと思います。皆さんがこの地域探究の時間の一環で、先ほどもありましたように、今回で10回ということになりますこの高校生議会であります。もっと北栄町がこうなれば元気になるんだろうな、あるいは良くなるんだろうな、そういう意見をこれまでの高校生議会の中でもいただきました。そうした中で、例えば街路灯がつかたりだとか、あるいは図書館のところに集まる場所を造るとか、そういう実際に実った意見もございます。今回も大変楽しみにしているところであります。そして、やはりこういう議場といいますか、議会といいますか、こういう独特な場での経験というのはなかなか経験できることではないと思います。これは鳥取中央育英ならではの経験だと思いますので、今回の経験は本当に貴重な経験でありますので十分に役立てていっていただきたいと思います。そして、先ほど議長のほうからもございました。こういう経験をしていく中、あるいは地域探究の時間を通して、やはり地域の課題解決をしながら行く行くはまた自分たちの場で、あるいは議員になったりだとか、あるいは行政に興味を持つとか、そんな会になればと思います。本日はどうぞよろしく申し上げます。
- 事務局長（大庭 由美子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 檜佳憲校長に御挨拶をお願いします。

#### 鳥取中央育英高等学校長あいさつ

- 校長（檜 佳憲君） 皆さん、おはようございます。鳥取中央育英高校校長の檜佳憲と申します。本日はよろしくお願いたします。北栄町様には日頃より本校の教育活動に対して御理解、御協力をいただき本当にありがとうございます。本校の地域探究の時間の学習では、多くの住民の皆様にご指導いただき北栄町の文化や産業等について学び、町の持つ魅力に気づき、学校生活を送る北栄町を愛する気持ちを育み、さらに町の発展に貢献できる生徒の育成に努めております。また、本日は主権者として次世代を担う生徒たちに対して、この議会会場で、地元北栄町の町政、町議会へ参加させていただく機会をいただいたことは、本校が地域とともにある学校であり生徒も北栄町の一員であるものと思っていたことであると思っております。本当にうれしくありがたいことだと思っております。本

会議の質疑を通して、また議員の方々と交流させていただくことを通して、社会に対する広く新しい見方、考え方を学ぶことで、本日が未来の社会、地域を支える一員としての一歩を踏み出していく機会になるものと思っております。本日はこのような貴重な機会をいただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○事務局長（大庭 由美子君） 以上で、開会式を終わります。

---

○事務局長（大庭 由美子君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（野田 秀樹君） 高校生議会の開会に当たり、議長として、門田健太郎議員を指名します。

門田議員、議長席へ移動をお願いします。

---

午前 9 時 27 分開会

○議長（門田 健太郎君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校 2 年の門田健太郎です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は 13 人です。定足数に達していますので、これより令和 5 年度北栄町高校生議会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

---

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（門田 健太郎君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1 番、福永啓太議員、2 番、山根玲奈議員を指名します。

---

日程第 2 会期の決定

○議長（門田 健太郎君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日 1 日としたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（門田 健太郎君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日と決定しました。

---

### 日程第3 諸般の報告

- 議長（門田 健太郎君） 日程第3、諸般の報告をします。  
本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。
- 

### 日程第4 一般質問

- 議長（門田 健太郎君） 日程第4、一般質問を行います。  
届出順により順次質問を許します。

1番、福永啓太議員。

- 議員（1番 福永 啓太君） 1番、福永啓太です。本日は、女性の農業経営について町長に質問します。

農業の担い手不足は地域の課題です。それを克服するために、県や町では様々な取組をされています。農林水産省は「農業女子プロジェクト」というプロジェクトを進めておられます。また、そのホームページには、女性が農業経営に関与したのとしいないのとは70%以上も利益に違いがあることがデータとして上げられています。

そこで、将来の地域の農業を担う女性の農業経営者を募集するとして、女性限定の農業PR会を開催してはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問は終わります。

- 議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

- 町長（手嶋 俊樹君） 福永議員の、女性の農業経営についての御質問にお答えします。

本町の多くの農家は、夫婦や親子などの家族単位で営農されています。令和2年の国勢調査では、本町で農業に従事している方のうち女性は約4割を占めています。議員御指摘の、女性が農業経営に関与した場合における収益の増加につきましては、平成28年、日本政策金融公庫の分析によると、営業・販売、農作物の6次化の分野で、女性ならではの視点や発想が消費者側に立つ女性の購買意欲を捉えることで収益の増加を後押ししていると考えられています。本町では、現在3名の女性がこの農業女子プロジェクトに加入され、農業女子の知恵を生かし女性経営力の発展に向け活動されているところです。

本町の農業を取り巻く状況は、従事者の高齢化、あるいは従事者の人口の減少が進んでいるため、将来にわたり持続可能な産地を目指して新たな担い手を確保していく必要があります。現在、町では就農相談や県内外での就農フェアへのブース出店をはじめ、スイカ・ナガイモ・花卉などの各生産組織が主体となり、実際に圃場で栽培や収穫が体験できる産地体験会などの取組を積極的に行っています。

女性限定の農業PR会を開催してはとの御提案ですが、より多くの新規就農者を本町に招き入れるために、女性に限らず意欲のある就農希望者を対象にしたイベントを生産組織と一体となって開催していくことにより、次の世代の担い手を確保していきたいと考えています。

- 議長（門田 健太郎君） 福永議員。

- 議員（1番 福永 啓太君） 以上で質問を終わります。

- 議長（門田 健太郎君） 以上で、福永議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

- 議長（門田 健太郎君） 2番、山根玲奈議員。

- 議員（2番 山根 玲奈君） 2番、山根玲奈です。ふるさと納税の返礼品について町長

にお聞きします。

コナン通りのブロンズ像に、ふるさと納税した人の名前を刻印することを返礼品として新設すれば、税収増と観光客増が見込めるのではないのでしょうか。コナンに関連したブロンズ像のオーナー制を採用することやクラウドファンディングでお金を集めることは営利目的に当たるのでしょうか。当たるのであれば、ふるさと納税制度を活用することにより、多くの税金を集めてコナン通りに多くのブロンズ像を立て、観光客を誘致することができるのではないかと。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 山根議員の、ふるさと納税の返礼品についての御質問にお答えします。

コナン通りのブロンズ像に、ふるさと納税した人の名前を刻印することを返礼品として新設すれば税収増と観光客増が見込めるのではないかということですが、名前を刻印される方は満足されるかもしれませんが、その他の観光客の方は作品と関係のない名前が刻印されることは望まれないと考えております。ブロンズ像にふるさと納税した方の名前を刻印することは、現在考えていないところです。

次に、コナンに関連したブロンズ像のオーナー制を採用することやクラウドファンディングでお金を集めることは営利目的に当たるかということですが、このことをもって営利目的に当たるとは考えておりません。御提案の内容は著作権元との許諾契約、これ、少し難しいんですけど、著作権を活用していいという契約、そういう範囲を超えてしまいます。そういうことですので実施はできないと考えております。

次に、ふるさと納税制度を活用することにより、コナン通りに多くのブロンズ像を立て観光客を誘致することができるのではないかとのことですが、これまでも多くのふるさと納税をいただき、観光振興に関する事業に活用しキャラクターオブジェの整備にも活用させていただいているところです。引き続きキャラクターオブジェの整備など観光振興事業にふるさと納税が活用できるよう努力していきたいと思っております。

○議長（門田 健太郎君） 山根議員。

○議員（2番 山根 玲奈君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、山根議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 3番、沖田大成議員。

○議員（3番 沖田 大成君） 3番、沖田大成です。本日、西高尾の飛行場の活用について町長に質問したいと思います。

現在、西高尾すいか空港は、町民にその存在さえあまり知られることなく山陰マイクロプレーンクラブ会長個人によって管理、運営されています。会長は高齢ですが、長さ300メートルもある芝生の滑走路の芝刈りや、個人で所有されている6機のマイクロプレーンのメンテナンスなどを日々行っておられます。天候のよい週末、関西方面からマイクロプレーンの飛行に数名の会員の方が北栄町を訪れ、西高尾上空を飛行されるそうです。

会長は73歳と高齢で、その管理、運営を引き継ぐ後継者は今のところいないそうです。もしこのまま会長が引退されて後継者がいない場合、北栄町としてはすいか空港を放置するつもりなのかどうかお伺いします。

飛行場の一部は私有地らしいのですが、その大部分は町の土地で安く協会に貸しているようですが、この施設を将来的に有効に活用していく計画があるのかお伺いします。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 沖田議員の、西高尾の飛行場の活用についての御質問にお答えします。

この飛行場は、山陰マイクロプレーンクラブと賃貸借契約により使用していただいております。私も乗ってみたいかと言われたことがありますが、高所恐怖症でよう乗りません。この契約解除の申出がない限り、同一の条件で契約を更新しております。

ここ数年、当該地はマイクロプレーンの飛行だけでなくイベントを実施されたり県の防災ヘリコプターの訓練にも活用されていますので、もし契約解除になった後の有効活用につきましては、このような利用状況を踏まえて検討していきたいと考えております。

○議長（門田 健太郎君） 沖田議員。

○議員（3番 沖田 大成君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、沖田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 4番、武藤雄伸議員。

○議員（4番 武藤 雄伸君） 4番、武藤雄伸です。梨のブランド化について質問します。

ネット上の統計データでは北栄町の梨の栽培面積は12ヘクタールで、スイカやブドウと比べて非常に栽培面積が少なく、また栽培農家も少ないのが現状です。令和4年4月現在、梨の栽培農家数は28団体で、ブドウの4分の1程度となっています。少子高齢化の中で北栄町産の梨栽培は厳しいのが現状で、大栄西瓜や北条ワインなどのような特産品化やブランド化する必要があると思われます。

そこで、道の駅大栄や新しくなる道の駅ほうじょうに北栄町の梨の直売所や梨ワインの販売特設コーナーを設置するなどして、梨のブランド化をしてはいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 武藤議員の、梨のブランド化についての御質問にお答えします。

道の駅や直売所において、特設コーナーを設けて梨のブランド化を行ってはとの御提案です。

本町では、多くの栽培品目がある中で梨の生産は丘陵地で栽培されています。議員御指摘のとおり、スイカ、ブドウに比べて栽培面積や農家数は多くないのが現状です。

道の駅大栄では、梨の収穫期になると店頭で梨の直売所を設けておられます。直売所には北栄町産を中心に県中部産の梨が多く並んでいますが、現在のところ北栄町産を前面に

打ち出での販売には至っていません。

このような状況の中ではありますが、町内のワイン醸造所や酒蔵では、近年、梨を活用した魅力づくりとして新たに梨ワインを商品開発し販売していらっしゃいます。消費者からの評価も上々で、町の新たな特産品となることが期待されています。

令和7年4月開業予定の道の駅ほうじょうは、町内農産物の魅力発信を行う新たな拠点となります。新鮮な果物や野菜はもとより、果物や野菜を原材料としたお菓子や食品、お酒などの加工品も数多く販売される予定です。他の果物と同じように、梨についても加工品を含めて北栄町産をうたった特設コーナーを設置することを検討していきたいと思えます。

なお、道の駅への出品に当たり新たに商品を開発する意欲のある方がいらっしゃれば、町として商品開発やパッケージ作成に係る支援を行っていきたくと考えています。梨を活用した加工商品を開発しようとする方に対しても同じように支援していきます。梨が持つ生鮮の魅力と併せて加工商品を町の玄関口である道の駅で発信することで、他の品目と同様に、梨の産地としてブランド化を進めていきたくと考えています。

○議長（門田 健太郎君） 武藤議員。

○議員（4番 武藤 雄伸君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、武藤議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 5番、増田絢議員。

○議員（5番 増田 絢君） 5番、増田絢です。僕は、コミュニティ・カーシェアリングの導入について町長に質問します。

Aコープ下北条店が閉店し北条地区のスーパーがなくなったため、免許返納者を含む免許を持っていない方も車を利用しなければ買物ができない状況です。町の取組としてタクシー利用料助成がありますが、1人でのタクシー利用よりも乗り合わせでの車利用のほうがCO<sub>2</sub>の排出が抑えられます。

そこで、町としてカーシェアリングを各地区に紹介、導入の補助ができれば、CO<sub>2</sub>の削減につながると考えます。また、カーシェアリングは人とのつながりもできるのでコミュニティの強化にもつながると思います。町民のつながり強化も含め、CO<sub>2</sub>削減のためにコミュニティ・カーシェアリングの導入をしてはいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 増田議員の、コミュニティ・カーシェアリングの導入についての御質問にお答えします。

議員御指摘のとおり、Aコープ下北条店が昨年9月に閉店し、利用者の方からも不安の声を聞いているところであります。町としましては、店までの移動対策としてタクシー利用料助成などを行っています。

また、コミュニティ・カーシェアリングにつきましてはCO<sub>2</sub>の削減や町民、地域のつながりにとてもよい取組であり、倉吉市をはじめ鳥取県内でも5地域で取り組まれている

と聞いていますが、まずは地域での組織づくりが大切ではないかと考えています。

県の「鳥取型ライドシェア」の構築に向けた取組や、町内でも令和5年5月から地元のボランティアの方を中心とした瀬戸・原の「乗りのりクラブ」や、琴浦町の東伯けんこうさんの移動販売などの取組が始まっています。町としましては、これらの事例を紹介しながら、意欲的な地域、自治会があればCO<sub>2</sub>削減の視点も大切にサポートしていければと考えています。

○議長（門田 健太郎君） 増田議員。

○議員（5番 増田 絢君） 再質問させていただきます。現在、北栄町の瀬戸や原で行っているライドシェアについて、どのような問題点を把握しているのかお聞きします。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 先ほど壇上でも答弁させていただいたんですが、やはりまだまだ機運っていうんですか、そういう醸成ができていないってところがあります。まずは、先ほど言いましたように「乗りのりクラブ」とかそういうところを例に出しながら、そういう人材の確保であったり地域の機運の醸成、そういうところに努めてまいりたいと思います。

○議長（門田 健太郎君） 増田議員。

○議員（5番 増田 絢君） 以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、増田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 6番、西崎咲蔵議員。

○議員（6番 西崎 咲蔵君） 6番、西崎咲蔵です。本日は、竹の有効活用による里山管理について町長に質問します。

里山は、地域環境を整えるすばらしい資源です。基本的に個人所有ですが、高齢化により多くの里山で手入れが行き届かず、特に竹の管理が追いついていないそうです。竹の管理について、放置竹林は土砂崩れや生物多様性の低下、周辺森林の駆逐など生活面や環境面等に悪影響を及ぼしています。しかし、竹の資源化はこれまで難しいと考えられてきましたが、近年、竹の資源化の研究が進み培養土や雑草抑え、消毒液など竹の有効活用ができるようになってきています。

そこで、竹の資源化を里山の地主の方や農業従事者、雑草で困っている方などに紹介し、竹の有効活用ができたらと考えます。

また、里山の管理は地主が行うことが基本ではありますが、不在地主問題もあり地域全体で考えていかなければならない問題となっています。

町全体で取り組めることとして、以下のことに取り組んではいかがでしょうか。1つ目、竹粉碎機の無料貸出し。2つ目、町報での紹介。3つ目、TCCでCMを流す。4つ目、各地区での取組として、区長を通して里山管理で困っている人への声かけなどをして地域全体での里山管理を行う。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 西崎議員の、竹の有効活用による里山管理についての御質問にお答えします。

町内では、繁茂した竹が農地に侵入することで営農に影響を与えたり、倒れることで道路の通行を妨げたりと、地域の課題となっています。町では、このような状況を解決するため、竹林整備事業により竹林の適正管理と竹の資源化、有効活用に向け、伐採した竹を竹炭生産に活用したり、タケノコ生産林として整備する取組を支援しています。

議員御提案の竹粉碎機は町で既に所有しており、利用貸出しについては町ホームページ、町報、自治会長会で周知しているところです。地域で課題となっている竹林の管理に必要な場合は、無料で貸出しを行っていますので有効に活用していただきたいと考えています。また、伐採した竹の活用については、地域の実情に合った有効な活用方法があれば町ホームページのほかTCCの文字放送も活用し周知していきたいと考えています。

地域全体で里山管理を行うことについての御提案につきましては、既に地域単位で農村環境の保全を行うことを目的とした多面的機能組織があり、国・県と協調して支援を行っているところです。組織の中で、各地域の課題を捉えた取組により、引き続き適正な里山管理を行っていただきたいと考えています。

○議長（門田 健太郎君） 西崎議員。

○議員（6番 西崎 咲蔵君） 再度質問させていただきます。竹の資源化には様々な方法があると分かりましたが、森林組合で確認したのですが、B&Gがバイオマス発電をしているけど、竹を粉にすると燃料として高すぎるといところから、1割でも竹をその木の中に混ぜるといことは検討いただけないでしょうか。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 少し検討する必要があるとは思いますが。担当課長に答弁させます。

○議長（門田 健太郎君） 杉本課長。

○環境エネルギー課長（杉本 裕史君） 町長に代わり答弁させていただきます。議員御指摘のとおり、B&G海洋センターには木質バイオマスボイラーがありまして、それがプールの温度の加温をしたり、アリーナとか部屋の暖房に使っている状況がありますが、その燃料に中部森林組合さんの端材とかをちっちゃく細かくチップしてそれを燃料にして送り込んで燃やしてボイラーを動かしているという状況がありますが、基本的には枝とか木の製材の細かくしたものとなっていますので、竹が使えるかどうかをまず確認をしなくちゃいけないと思っています。使えるようであれば、町長が申しましたように検討はしていきますが、使えない場合は機械のほうが傷んでしまうということもありますのでなかなか難しいというふうに考えています。ということで、検討したいと思います。以上です。

○議長（門田 健太郎君） 西崎議員。

○議員（6番 西崎 咲蔵君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、西崎議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 7番、栗原陸議員。

○議員（7番 栗原 陸君） 7番、栗原陸です。本日は、観光マップにトイレの種類も記載、「トイレ観光」について町長に質問します。

オストメイトトイレの検索サイト「オストメイトJP」によりますと、北栄町にオストメイトトイレの記載はありませんでした。実際はあるとのことですが、周知できていない現状があると思います。北栄町を観光するときトイレに困らないように、観光マップにオストメイトトイレや介助ベッドありのトイレなどの記載をしてはどうでしょうか。

渋谷の透明トイレのように外観や内装が変わったトイレを設置すれば、それも一つの観光になると考えます。例えばスイカの匂いがするトイレや、洗面台の鏡の1つが曲がっている、近未来的なデザインのトイレなど、アイデアを公募してはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 栗原議員の御質問にお答えいたします。まず始めに、観光マップにトイレの種類も記載をについての御質問です。

観光マップにオストメイトトイレや介助ベッドありのトイレなどの記載をしてはどうかとの御提案です。観光マップに記載をすることは、観光マップの情報量が多くなりすぎて観光マップが見にくくなるおそれがありますので、記載することは現在のところ考えていません。しかしながら、これらの情報は観光客だけでなく町民、町内施設利用者など幅広い方が必要な情報です。そうしたニーズに応えるため、鳥取県が「とっとりUDマップ」というサイトを作成されています。このサイトは、誰もがいつでも心配することなく外出できるようバリアフリートイレやスロープ、オストメイトトイレなどのバリアフリーに関する情報も提供されています。こうした情報の周知に努めてまいりたいと思います。

なお、栗原議員の御質問を受け、「オストメイトJP」に北栄町のオストメイトトイレの設置状況を登録したことを申し添えます。ありがとうございました。

次に、「トイレ観光」についての御質問です。

外観や内装が変わったトイレを設置すればそれも観光の一つと考えるとのことですが、議員御紹介の渋谷の透明トイレは、観光目的ではなく性別、年齢、障がいを問わず誰もが快適に使用できるトイレを設置するプロジェクトとして、多様性を受け入れる社会の実現を目的に世界的な建築家やデザイナーが手がけたトイレを渋谷区内17か所に設置された1つかと思います。この透明トイレは、利用者がいないときはフィルムに電気を流すことでガラスが透明となり、トイレ内に入り鍵を締めると電気が流れなくなりガラスが不透明となる仕組みだそうです。トイレの中はきれいか、中には誰も入っていないかといった公共トイレの不安を払拭するとともに、夜にはまるで美しいあんどんのように公園を照らすトイレとのことですが。しかしながらこの透明トイレは、鍵を締めても不透明にならない不具合が生じるなど、安心して利用できるトイレとしてはまだまだ課題があるようです。

本町に新しく公衆トイレを設置するのであれば、外観や内装の奇抜さより、暗い、汚い、臭い、怖いといったイメージを払拭して、性別、年齢、障がいを問わず誰もが快適に安心して使用できるトイレとしたいと考えていますので、アイデアの公募は考えていないところです。

○議長（門田 健太郎君） 栗原議員。

○議員（7番 栗原 陸君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、栗原議員の一般質問を終わります。  
次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 8番、小倉凜隼議員。

○議員（8番 小倉 凜隼君） 8番、小倉凜隼です。私は、選果場などで出る廃棄予定の野菜や果物を安く提供できるシステムや販路の構築について町長にお聞きします。

現在、SDGsを掲げない企業、自治体はほぼありません。それだけ環境問題は現代人にとって当たり前かつ重大な課題となっています。北栄町は海と山に囲まれ自然環境が豊かで、その環境を生かして風力発電や農業などが盛んです。しかし、その北栄町の看板産業の一つでもある農業で多くの廃棄食品が出ています。特に、今回取材をした規格外トマトは、出荷先が今年で撤退され、新たな出荷先がなければこのまま廃棄となるそうです。全国的に見てもすばらしい施設を誇る北栄の選果場が、廃棄ゼロの施設となれば環境問題に一石を投じることになり、話題性もあります。町とJAが協働し、廃棄食材の削減、肥料化などに取り組んではどうでしょうか、お伺いいたします。

まず1つ目に、選果場や規格外の廃棄食材を使った食イベントの開催。選果場や規格外の廃棄予定の食材のうちまだ食べられる状態で捨てられるものを、見た目が悪くてもおいしく食べられる、規格外でもおいしいということを消費者に体験してもらい需要を創出すれば、店舗でも安価で取り扱うことができ消費者も小売店も生産者も皆が満足できると考えますが、いかがでしょうか。

次に、業務用生ごみ分解処理装置等の設置及び使用の促進。給食センターで、エゴリータという業務用の生ごみ処理機を見せていただきました。食べられない部分の食品の廃棄を、ごみにするのではなく町全体で肥料として再利用できるようにしてはどうでしょうか。食品店や小売店などで発生した生ごみを肥料化し、それを町が買い取り生産者に安く提供するというサイクルを実現できれば、循環型社会のモデルとして農業を推進する上でも有利だと考えますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 小倉議員の、選果場から出る廃棄予定の野菜や果物を安く提供できるシステムや販路の構築についての御質問にお答えします。

初めに、廃棄食材を活用した食イベントの開催についての御提案です。

農作物は、品質により等級別に選果され出荷されています。その中で、形や色味など基準を満たさず出荷できない規格外品は、加工用食材として使用されるか廃棄となっています。その中で、基準は満たさないが味に遜色のない農作物を、加工品やイベントで活用することは食品ロスの削減につながる有効な手段だと思います。

地域の農産物の魅力を発信する食イベント「中部発！食のパラダイスフェスタ」などで、規格外品を活用した取組ができないかJAや生産組織と検討してみたいと考えています。

次に、生ごみを肥料化し、それを町が買い取り生産者に安く提供してはどうかについての御質問です。

現在、町では、生ごみを可燃ごみとしてほうきりサイクルセンターで焼却処分しています。生ごみは食料品の食べ残しや調理くずで、可燃ごみの約40%の割合を占めています。生ごみが肥料などに有効活用できるとごみの減量化につながりますので、ダンボールコンポスト、キエーロなどの活用について、町ホームページ、SNS等で周知しているところです。

なお、琴浦町では一部の自治会、JAと連携し、生ごみの肥料化について実証試験を行っているとのことですので、その結果を今後の参考にさせていただき、北栄町に合った取組について考えていきたいと思っております。

○議長（門田 健太郎君） 小倉議員。

○議員（8番 小倉 凜隼君） 再質問させていただきます。①の選果場や規格外の廃棄食材を使った食イベントの開催なのですが、既に開催されているイベントに生産者が参加し、そこで販売するのはいかがでしょうか。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 先ほども少しお話をさせていただきましたが、名称は変わりましたが、これから食のパラダイスフェスタというのが6月ぐらいでしたか、毎年あります。JAさんの主催というところもあって、そういうところに出店できないかということも検討していきたいと思っております。何かほかにイベントがあって、これから生産部組織等と色々なお話をさせていただく機会がありますので、そういうところでもちょっと紹介してみたいと思っております。

○議長（門田 健太郎君） 小倉議員。

○議員（8番 小倉 凜隼君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、小倉議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 9番、長優愛議員。

○議員（9番 長 優愛君） 9番、長優愛です。私は2つのことについて質問します。

学校関係者が一斉にごみ拾いを行うことについて質問します。

現在、北栄町には多くの観光客が訪れるようになっております。特に、休日のコナン通り沿いには多くの歩行者が見られます。また、JR由良(コナン) 駅付近は育英生をはじめ多くの乗降客が利用します。そのような中、道端にごみが落ちている状況が気になりました。私たちは北栄町の景観を守るために道にごみ箱を設置することを考えましたが、それには経費がかなりかかることや管理上の問題もあり現実的ではないと思われまます。

北栄町では町内会や子ども会が中心になって行っているクリーン作戦などがありますが、高校生をはじめとする青少年の参加は多くないように思います。そこで、町内の学校関係者がホームルームの時間などを調整して、町内会、商工会など可能な限り町を挙げて一斉にごみ拾いを行うイベントを行ってみたいと思っております。

次の質問をします。景観をアピールするポスターのコンテストについてです。

SNSなどではなく、駅など多くの人の目に触れる場所に幼児・児童・生徒が描いた北栄町の美しい景観をアピールするポスターを掲示することで、幼児・児童・生徒の環境意

識が高まるのではないかと考えます。

そこで、幼児・児童・生徒を対象にしたコナン通りをはじめとする北栄町の美しい景観をアピールするポスターコンテストを実施してみてもどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 長議員の御質問にお答えします。

初めに、学校関係者が一斉にごみ拾いを行うことについての御質問です。私からは町の取組についてお話しさせていただきたいと思います。

町では今年度から、地域の散策、ウォーキングやクラブ活動など、屋外活動のついでに地域のポイ捨てされたごみ拾いをしたり、環境美化の啓発を行ったりしていただける「環境見守り隊」の登録促進を始めています。環境見守り隊に応募され同意していただける方には、ごみ袋などの必要な備品や「目指せ！ポイ捨てゼロ」といった文言の入っているビブスをお渡しし、散歩などのついでにごみ拾いや環境啓発を行っていただいています。また、その環境見守り隊の活動の一環として、10月の鳥取県環境美化促進月間中に「ポイ捨てごみ撲滅運動」といったイベントを実施し、コナン通りからお台場周辺の清掃を行いました。

町では環境見守り隊のイベント、自治会ではクリーン作戦、海岸清掃の実施、大栄生涯学習まちづくり研究会ではコナン通りの草取り等の活動がありますので、高校生の皆さんもそういった活動に積極的に参加していただき、北栄町の環境のことを考えていただいたり、町をきれいにする取組について、協力していただきますようお願いしたいと思えます。

次に、景観をアピールするポスターコンテストについての御質問です。

町では、北栄町の魅力を伝えたり再発見していただくための写真を募集する「ほくえいフォトコン」を行っています。小学生部門、中学生部門、高校生・学生部門、ファミリー部門等があり、多くの皆さんが参加しています。ちなみに今回の最優秀賞となったのは、夕日のグラデーションがきれいな景観を撮影された小学生の方でした。こういった取組により町の景観、自然などについても改めて考えていただく機会になったのではないかと思います。絵ではありませんが、取り組みやすくSNSなどへも掲載しやすいと考えますので、議員の皆さんが、高校、小・中学校に北栄町の魅力発信のための写真を撮ろうと自ら撮ったり働きかけをしたりしていただければうれしく思います。まずは、現在行っていることを生かすことから始めたいと思います。美しい景観をアピールできる写真があれば北栄町の魅力発信に活用できると思いますので、現在のところ絵のポスターコンテストの実施については考えていないところです。

なお、今回の景観写真をSNSだけではなくできるだけ多くの人の目に届く箇所に展示し、町民の皆さんが美しい景観を残していきたいといった意識を持っていただくようにしていきたいと思えます。

○議長（門田 健太郎君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） 長議員の、学校関係者が一斉にごみ拾いを行うことについての御質問にお答えします。

高校生の皆さんから御提案のあるごみ拾いイベントですが、実現すれば面白いと思いま

す。鳥取中央育英高校の高校生の皆さんと大栄小学校や大栄中学校の児童生徒とは、現在、向ヶ丘レインボープランによる活動で交流していただいているところです。交流の中心である部活動での交流は、一部の部活動にとどまっていますので交流人数で見た場合それほど多い人数とは言えません。その一方で、ごみ拾いイベントであれば多くの生徒たちの交流が見込まれますので、向ヶ丘レインボープランの活動の目的にも大きく貢献できると考えられます。ぜひ、実現していただければと思うところですが、実施に当たっては整理すべき課題も考えられます。

一つ課題となりそうな例を申し上げます。先ほどの御提案の中で「ホームルームの時間など」という御発言がありました。実施するのはおそらく平日の授業時間ということ想定されているかと思います。小・中・高でそれぞれの授業の開始時間と終了時間とが一致していれば特に問題はありませんが実際はばらばらです。例えば、同じ4限であっても小学校は11時35分開始の12時20分終了、中学校は11時50分開始の12時40分終了といったように時間がずれています。一斉に活動を行うことを考えた場合これらの違いが実施の妨げになるのではと考えるところですが、また、1限当たりの時間数も小学校は45分間、中学校では50分間といった違いがありますので、この点も注意しなければなりません。では、授業時間に制約のない土曜日や日曜日の開催ではどうでしょうか。休みの日となりますので多くの生徒たちが参加してくれるでしょうか。やはり不安が残るところです。

このように、整理すべき課題がありますので簡単に実現する内容ではないかもしれませんが、高校生の皆さんの今後の熱意と課題を克服するための柔軟な発想と根気強さにより実現できることを期待して、私からの答弁とさせていただきます。

○議長（門田 健太郎君） 長議員。

○議員（9番 長 優愛君） 町長に、景観をアピールするポスターのコンテストについて再質問します。

幼児・児童・生徒の環境意識を高めることについて、どう考えておられますか。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） ポスターとの関係というのは直接結ぶかどうか分かりませんが、例えば、今回1月号の町報の表紙を飾った、先ほど壇上で紹介しました、あの風景を見て、やはり、ああ北栄町ってきれいなところだなというようなことを思ったりもしていただけます。ほかにもいろんな風景があって、北栄町はきれいなところっていうのもあったりします。そういうところからも少し環境、それを全て環境という意識かどうか分かりませんが、そういう促しをしていきたいなと思います。ほかにもいろんな環境イベントに高校生の皆さんであったり、中学生の皆さんであったり、参加していただいていることもありますので、そういうところから少しずつ環境についての意識を広げていきたいなと思います。

○議長（門田 健太郎君） 長議員。

○議員（9番 長 優愛君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、長議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（門田 健太郎君） 10 番、小栗那奈議員。

○議員（10 番 小栗 那奈君） 10 番、小栗那奈です。私は、2つのことについて町長にお聞きします。

まず、町内各所への休憩スペース設置についてです。

少子高齢化が叫ばれ久しいですが、高齢化が進む北栄町において、町内にたくさんの休憩スペースがあるとよいと思います。また、北栄町が観光の目玉にしているコナンは、児童から親世代まで幅広く人気です。中には、炎天下に小さな子をベビーカーに乗せて押しついたり、抱っこしたりしたまま長いコナン通りを歩いている観光客も見られました。そうした観光客のためにも、コナンのブロンズ像の横やカラーオブジェの横に休憩スペースがあると便利です。

住民が日用品の購入をする商店に通じる道路や、観光客の歩くコナン通りなどに休憩スペースを設置してはいかがでしょうか。

次に、外国語の案内看板の設置促進についてです。

海外からの観光客も多く海外からの労働者も多い北栄町にしては、あまりにも外国語表記が少なく、観光にも緊急時の避難などにも外国人が困る場面が多く出てくると思います。そこで、対策をされる予定があるかをお聞きします。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 小栗議員の御質問にお答えします。

初めに、町内各所への休憩スペースについての御質問です。

町内の休憩スペースの設置状況につきましては、まず一般の道路などでは、休憩スペースと言えるのか分かりませんが、ベンチがあるバス停が幾つかあるだけであります。またコナン通りを散策される観光客の休憩スポットとしては、コナン駅前、図書館、コナン大橋、米花商店街、出合いの広場前の東屋やポケットパーク、コナンと小五郎のブロンズ像横のベンチ、ふるさと館前のベンチ、道の駅大栄の情報コーナーなどがあります。

町内各所に休憩スペースの設置をとの御意見をいただきましたが、商店などに通じる道路にはスペース的に設置は難しく、お店の敷地や店内に設置いただくしかないと思っております。コナン通りなど観光用にはできるだけ配慮するよう取り組んでいきたいと思っております。

次に、外国語の案内看板の設置促進についての御質問です。

公共交通機関や観光施設などでは、外国人旅行者が一人歩きできるまちづくりを目指し英語併記に加えて韓国語、中国語併記の案内が多くなっています。道路等に設置の案内標識は、日本語とローマ字表記が主になっています。多言語併記になっていないのは、通行中によく見えるようにする必要のあることからだと考えています。

本町の状況ですが、外国からの観光客が多い青山剛昌ふるさと館などの観光施設では、施設の案内分や説明文を日本語と英語で表示をしていますが、その他の言語表示も検討しながら引き続き丁寧、親切に表示をしていくようにいたします。災害時の避難誘導については、常設の避難看板を各所に設置することは難しく、観光施設等のスタッフによるフリップボードを使つての避難誘導を行うよう考えています。

○議長（門田 健太郎君） 小栗議員。

○議員（10 番 小栗 那奈君） 町内各所への休憩スペース設置について再度質問しま

す。

高齢者のための休憩スペースが少ない現状をどう考えているかお聞きします。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 先ほど少し壇上でもお話をさせていただきましたが、確かにその設置スペース、高齢者だけではなくて、例えば足が不自由であるとかそういうところのいろんな方について配慮が必要かとは思いますが、ただ、どれだけ多く設置するかというのがありますし、先ほど言いましたとおり、お店の方、あるいは家のこと、あるいは道路にも出てはいけないとか、歩く方の支障になってはいけない、いろんなことがありますので、その辺も考慮しながら最低限といいますか、そういうところで考えながら設置については検討していきたいと思えます。

○議長（門田 健太郎君） 小栗議員。

○議員（10番 小栗 那奈君） 次に、外国語の案内看板の設置について再度質問をさせていただきます。

外国人のための観光案内や緊急時の避難所案内は現在どうされているかお聞きします。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在、外国人用のといいますか、そういうのはございません。先ほども言いましたけど、もし避難等が必要であった場合については、主に観光客の方にも分なろうかと思えますけど、観光の、例えばふるさと館等で、スタッフがフリップボードを使ってこちらのほうに促していくというような取組を進めるところであります。

○議長（門田 健太郎君） 小栗議員。

○議員（10番 小栗 那奈君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、小栗議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 11番、小浜はな議員。

○議員（11番 小浜 はな君） 11番、小浜はなです。私は、子どもたちと地域の高齢者の方との交流について町長、教育長にお聞きします。

核家族化が進み高齢者とともに暮らす家庭が減少している。また、鳥取県への移住者も僅かながら増加傾向にあり今後さらなる増加が期待される中で、他地域からやってきた家庭の子どもたちはその地域について知らないことが多いだろう。地域の高齢者にとっても子どもたちとの関わりは有意義な時間となる。地域にはしめ縄作りなどすばらしい技術を持った高齢者がおられるが、その方々の技術が受け継がれずにいる。小学校の総合的な学習の時間などで僅かに関わる程度である。

今回の提案は、そのように地域のすばらしい技術を持った高齢者にしめ縄作りや名産物の栽培など教えていただければどうかというものである。これは、子どもたちにとっても地域との関わりを持つこと、また地域について知ることになる。高齢者の方々にとっては昨今聞かれるフレイルの予防になると考えるが、いかがか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 小浜議員の御質問にお答えします。

子どもたちと地域の高齢者の方との交流についての御質問です。

地域のすばらしい技術を持った高齢者に、しめ縄飾りや名産品の栽培などを教えていただいているかどうかという御提案をいただきました。子どもたちと地域の高齢者の方の交流は、子どもたちにとって地域の魅力を学び体感できる重要な機会となり、地域への愛着を持ってもらえることにもつながります。また、高齢者にとっても社会参加や生きがいづくりの場となり、議員御指摘のフレイル予防にもつながり、このような機会を提供することは重要な取組であると認識しているところです。

例えば、しめ縄飾りにつきましては、毎年北栄町シルバー人材センターが町民の方を対象にしめ縄飾りづくり講習会を開催されていますが、開催日が平日に行われていることもあり、現状では子どもたちが参加することは難しいと思います。休日等の開催について働きかけてみたいと考えています。名産品の栽培につきましては、北条地区では、北条地区のにぎわい創出の実行組織である「あつまらいや北条」が、子どもたちともち米作り体験やブドウ作り体験などを実施されています。また、シルバー人材センターの会員とこども園の園児が稲刈り体験を実施されています。このほか、町内の各地域で農地の維持活動をしている多面的機能活動組織でも、地域の子どものための農業体験交流会を実施されています。昨年8月には、社会福祉協議会の主催により「夏休みこども工作教室」が開催され、町内の高齢男性の方7人が指導となって活躍していただきました。

今後も、子どもたちと地域の高齢者の方が交流できる機会を提供したり、支援をしていきたいと考えています。

○議長（門田 健太郎君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） 小浜議員の子どもたちと地域の高齢者の方との交流についての御質問にお答えします。

現在学校では、コミュニティスクールの活動を通じて地域の方々に学校の教育活動に参画していただくことを進めています。授業のゲストティーチャーとしてご協力をいただくこともありますし、学校行事に地域代表として参加していただくこともあります。また学校外の時間においても、中央公民館や大栄分館で子どもたちを対象に実施している「おもしろまなびタイム」や「子どもほくえい塾」の事業では、地域の方を講師として、たこ作りやタケノコ掘りなど様々な体験活動を実施していますし、北栄人権文化センターでは、高齢者の方が集まれるおしゃべりサロンと児童館に来られる子どもたちとの交流イベントとして、ニュースポーツ体験や餅作りをしたりしています。

このように地域の方々と共に活動する中で、皆さんそれぞれが持たれている技術や知識、知恵を子どもたちに届けていただいているところです。核家族化が進んでいる現在は、おじいさんやおばあさんと同居しておらず普段の生活で高齢者の方と接する機会が少ない子どもたちが多くいます。子どもたちと高齢者の交流で考えた場合、今述べたような状況であるからこそ高齢者の方々が持つ長年の経験で培われた技術や知恵といったものが子どもたちに与えてくれる刺激は少なくないと考えます。高齢者の方々と交流は、学校としても得られるものが多いと考えていますので、これからも小浜議員御提案の趣旨を念頭に置きながらコミュニティスクールの活動を推進していきます。

○議長（門田 健太郎君） 小浜議員。

○議員（11番 小浜 はな君） 町長に再度質問させていただきます。

コロナ前に行っていた子どもと高齢者が共に行っていた地域の行事は、コロナが落ち着いた今はどうなっているのかお聞きします。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） コロナ前とコロナ後ということで、全て答弁できるか分かりませんが、例えば、先ほど言いました一緒にしていくような事業、園児との稲刈り体験とかそういうのはあったと思います。実際、一緒にやっていくっていうことはコロナのときはできていなかったので、そういうところは体験が進んでいった事業だと思います。詳細については担当課長に答弁させます。

○議長（門田 健太郎君） 中原課長。

○教育総務課長（中原 浩二君） 町長に代わりまして補足の説明をさせていただきます。

令和5年度の状況で申し上げたいと思います。先ほど教育長が壇上で「おもしろまなびタイム」というような事業も紹介をさせていただきましたが、この事業の中では地域のボランティアの方に講師となっていただきまして、立体カード、開いたらカードが立体的になるようなものを作る活動であったり、あと米里の地域の皆さんに御協力いただきまして、水路の生き物調べといった活動も行っております。また、地域の方に指導していただきましてたこを作ったりといった行事も行っております。このように、地域の皆さんの技能ですとか技術を生かした行事を行っているところでございます。以上です。

○議長（門田 健太郎君） 小浜議員。

○議員（11番 小浜 はな君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、小浜議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（門田 健太郎君） 12番、福井虎太郎議員。

○議員（12番 福井 虎太郎君） 12番、福井虎太郎です。僕は、スケボーパークで町の活性化について町長にお聞きします。

お台場公園にスケボーパークを造ることを町長に提案します。北栄町はコナンが有名でコナンファンがたくさん来ます。コナンと言えばスケートボードです。コナンのスケートボードを気軽に体験できて楽しめるスケボーパークを造るのはいかがでしょうか。スケボーはオリンピック種目であり、今、若者に絶大な人気があります。町の活性化になると考えますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 福井議員の、スケボーパークで町の活性化についての御質問にお答えいたします。

お台場公園にスケボーパークを提案するとのことですが、コナンと言えばスケボーという着眼点は素晴らしいと思います。お台場公園は、多目的広場、テニスコート、こども広場があり、それぞれのエリアで町民の方を中心に多くの方に御利用いただいているのが現状ですので、お台場公園のエリア見直しや規模拡大は難しく、スケボーパークの整備について

は考えていないところであります。

○議長（門田 健太郎君） 福井議員。

○議員（12 番 福井 虎太郎君） 再度の質問をさせていただきます。

全国や町を見ても、町でスケボーをしている人が多々見られると思います。なので、北栄町をスケボーの聖地にするのはいかがでしょうか。

○議長（門田 健太郎君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 全国だけでなく県内にも 9 か所あるという具合に聞いております。有名な選手も出て、全国的に堀米さんとか平野さんとかいうのが出ているのは承知しております。そうやってブームといいますか、多くの方が利用されているということで、そういうのがあればいいなどは私も思いますが、実際、全国のところでいろんなところを調べている中で、やはりいろんな課題が出てきているのも実際だと思います。例えば、騒音でありますとか維持管理等々あって、一長一短にすぐにここに北栄町が聖地と出していくというのはなかなか難しいなとは思っています。いろんな機運等醸成していけば、もしかしたら北栄町もそういうことが可能なのかなというのは一つ考えるところではあります。現在はなかなか難しいなと思っているところでございます。

○議長（門田 健太郎君） 福井議員。

○議員（12 番 福井 虎太郎君） 以上で質問を終わります。

○議長（門田 健太郎君） 以上で、福井議員の一般質問を終わります。

---

○議長（門田 健太郎君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これにて、令和 5 年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前 10 時 45 分閉会

---

高校生議長あいさつ

○議長（門田 健太郎君） リハーサルから、野田議長をはじめとした議員の方々にお世話になりました。本日は、手嶋町長をはじめとした様々な課の方にも質問をさせていただき、的確な答弁をいただけたと思います。どうもありがとうございました。

---

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員